

杏林大学大学院保健学研究科
臨床心理学専攻
博士前期課程入学試験

専門試験

令和7年8月9日 実施

試験時間 午前10時 ~ 11時30分

注意事項

1. 問題は3題です。
2. 問題用紙は持ち出し禁止です。

2026 年度入学 保健学研究科 臨床心理学専攻 8月入試

【設問1】

<出題意図>

本専攻は公認心理師となるために必要な科目を開講しており、未来の心理専門職を養成している。そのため、本問の出題は心理専門職としての役割を担うために必要な基礎的な知識、基礎的な技能の到達度を確認することを目的としている。

<問題と解答例>

下の問い（問1～15）に答えなさい。解答はすべて解答用紙に書きなさい

問1 MMPIについて、誤っているものを1つ選びなさい。【正解1】

- ① MMPIの項目数は335項目であり、MMPI-3の項目数は550項目である。
- ② MMPIの開発者はS.R.Hathaway&J.C.Mckinleyである。
- ③ 日本ではMMPI-3が標準化され、保険点数を取得できる。
- ④ MMPI-3にはMMPIの第5尺度であるMf尺度は継承されていない。
- ⑤ MMPIは類型論の特性を備えており、MMPI-3は特性論の特性を備えた心理検査となっているため、根本的な構造の変化がある。

問2 児童虐待防止法（児童虐待の防止等に関する法律）について述べている下記の文章の中で、誤っているものを1つ選びなさい。【正解5】

- ① 児童虐待の通告先として定められている行政機関は、児童相談所または福祉事務所である。
- ② 「必要な予防接種を受けさせない」などの虐待は、ネグレクトに該当する。
- ③ この法律の目的は、児童虐待の予防、早期発見、保護、および支援を行うことで子どもの権利を守ることである。
- ④ 児童の面前で配偶者に対する暴力が行われることは、児童虐待に含まれる。
- ⑤ 児童虐待は「身体的虐待」、「性的虐待」、「ネグレクト」、「心理的虐待」、「経済的虐待」の5種類に分類される。

問3 下記の文章の中で、誤っているものを1つ選びなさい。【正解2】

- ① Y-BOCSは強迫傾向を評価する検査である。
- ② LSAS-Jはうつ病を評価する尺度である。
- ③ BACS-Jは統合失調症を評価する検査である。
- ④ PDSSはパニック症を評価する検査である。
- ⑤ CES-Dはうつ病を評価する尺度である。

問4 EMDR、持続エクスポージャー療法のような、トラウマに特化した専門的な治療法の総称として、正しいものを1つ選びなさい。【正解2】

- ① トラウマレスポンドケア
- ② トラウマスペシフィックケア
- ③ トラウマ焦点化認知行動療法
- ④ 認知処理療法
- ⑤ PTSD

問5 脳の神経系には、皮質下に特定の神経核が存在し、そこから大脳皮質へ投射される神経系と、特定の神経核に限定されず、大脳皮質全体にほぼ均等に分布している神経系とがある。下記の神経系のうち大脳皮質全体に分布しているものとして、正しいものを1つ選びなさい。【正解4】

- ① GABA 神経系
- ② ドパミン神経系
- ③ オレキシン神経系
- ④ セロトニン神経系
- ⑤ ノルアドレナリン神経系

問6 令和6年4月1日施行の女性支援に関する新しい法律に基づき、「女性の福祉」「人権の尊重・擁護」「男女平等」の視点から、問題を抱える女性一人ひとりのニーズに応じて、切れ目のない包括的な支援を行う女性支援事業が実施されている。この法律の正式名称として、正しいものを1つ選びなさい。

【正解1】

- ① 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律
- ② ストーカー行為等の規制等に関する法律
- ③ 男女雇用機会均等法
- ④ 新生活保護法
- ⑤ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律

問7 事業場で行う「ストレスチェック制度」について述べている下記の文章の中で、誤っているものを1つ選びなさい。【正解4】

- ① ストレスチェックの実施根拠法は安全衛生法である。
- ② 法律上、従業員50人以上の事業場では、事業者は従業員に対してストレスチェックを1年に1回は実施しなければならない。
- ③ 「高度ストレス者」と判定された従業員が希望した場合、事業者は産業医による面接指導を行う必要がある。
- ④ 結果は従業員本人に通知するだけでなく、業務上必要な直属の上司に必ず提供する。
- ⑤ 法律上、ストレスチェックの最も主要な目的は、従業員の心理的負担の程度を把握してメンタルヘルス不調の未然予防に活用することである。

問 8 心身症について述べている下記の文章の中で、誤っているものを1つ選びなさい。【正解 3】

- ① 心身症になりやすい性格傾向はアレキシサイミアである。
- ② 身体疾患の中で、その発症や経過に心理社会的因子が密接に関与するものである。
- ③ 虚血性心疾患を発症するリスクが高いことが報告されている性格行動パターンはタイプ B 型行動パターンである。
- ④ 心身症の場合、身体症状へのアプローチと生活習慣の改善やストレスの対処法の両面から取り組む必要がある。
- ⑤ 代表的な心身症の中に、心筋梗塞、気管支喘息、肩こり、腰痛がある。

問 9 精神保健福祉法による入院について、正しいものを1つ選びなさい。【正解 1】

- ① 任意入院は患者本人の同意のみが必要であり、精神保健指定医の診察は必要ではない。しかし精神保健指定医が必要と認めた場合は 72 時間以内の退院制限が可能である。
- ② 応急入院では患者本人の同意が必要であり、入院期間は 72 時間以内である。
- ③ 措置入院は自傷他害の恐れがある場合に、警察官などからの通報、届け出により、都道府県知事が 1 名の精神保健指定医に診察をさせる。
- ④ 精神保健福祉法による入院は、任意入院、応急入院、措置入院の 3 種類である。
- ⑤ 医療保護入院は、自傷他害の恐れはないが、家族等のいずれかの者が入院を望みさえすれば、2 名の精神保健指定医の診察をすることで可能となる入院形態である。

問 10 少年法における「少年審判」で最も重視して調査すべきものとして、正しいものを1つ選びなさい。【正解 4】

- ① 犯行の動機
- ② 証拠の有無
- ③ 次の犯行の予測確率
- ④ 本人の性格、環境、更生の可能性
- ⑤ 被害者の苦痛の大きさ

問 11 パーソナリティ理論について述べている下記の文章の中で、誤っているものを1つ選びなさい。【正解 4】

- ① S.Freud はリビドーが集中する部位と発達を結び付けた心理学的発達理論を唱えた。
- ② C.G.Jung はリビドーの向かう方向で内向型と外向型に分けた。
- ③ C.R.Rogers の PCA 理論において自己概念を扱う。
- ④ H.J.Eysenck はパーソナリティ特性を外向—内向とうつ傾向の 2 軸に分けた。
- ⑤ C.R.Cloninger は、7 因子モデルというパーソナリティ理論を提唱した。

問 12 同意能力が十分でないと思われる精神障害がある人や子どもを対象に、本人が抱える疾患やその治療法・支援法について、その保護者に対して説明し同意を得るだけでなく、本人自身にも説明して了解

を得ることを示す用語として、正しいものを1つ選びなさい。【正解5】

- ① ナラティブインタビュー
- ② フォレンジックインタビュー
- ③ アジェンダセッティング
- ④ インフォームドコンセント
- ⑤ インフォームドアセント

問 13 「コミュニティアプローチ」について述べている下記の文章の中で、誤っているものを1つ選びなさい。【正解3】

- ① 「エンパワメント」の例として、住民が主体的に問題解決に関わっていく支援が挙げられる。
- ② 教員がスクールカウンセラーに、担当の生徒の心理的問題について「コンサルテーション」を求めた場合、教員はコンサルティと呼ばれる。
- ③ 精神障害を早期発見し、早期対応により重症化を防ぐことは、「一次予防」である。
- ④ 「危機介入」の最も重要な目的は、安心・安全を確保し、心理状態を安定させることである。
- ⑤ 「心理教育」を実施する上で注意すべき点は、患者の主体性も尊重しながら共同で行うことである。

問 14 ある大学の学生が、授業中のグループディスカッションで、自分の意見が最も重要であり、他のメンバーも当然それを中心に議論すべきだと考えている。この学生は、自分の視点が他者にとっても同様に意味を持つと無意識に思い込んでいる可能性がある。このような認知の偏りを表すバイアスについて、正しいものを1つ選びなさい。【正解5】

- ① サンプリングバイアス
- ② 確証バイアス
- ③ 正常性バイアス
- ④ 自己奉仕バイアス
- ⑤ 自己中心性バイアス

問 15 30代の女性A。精神科クリニックに「不安と抑うつ感」を訴えて受診した。主治医からの紹介で心理師が面談を行ったところ、女性は1ヶ月ほど前に夫からひどい身体的・心理的な暴力を受けて以来、不安や抑うつ感がひどい状態であるとのことだった。また「夫は、暴力後に落ち込んでいる私を心配してくれている。精神科受診も夫に勧められたので来た」と話した。心理師として行う最も必要な対応について、正しいものを1つ選びなさい。【正解2】

- ① 暴力はいやだと女性が夫にはっきりと伝えられるよう、女性に安全な自己主張の方法を教える。
- ② 現在の身体のケガの状況を確認した上で、身の安全の確保をする具体的な方法を女性と話し合う。

- ③ 暴力を受ければ誰にでも「不安と抑うつ感」は起こると女性に説明し、安心するように伝える。
- ④ 問題があるのは夫であるため、次回の診察には夫を連れてくるよう女性に伝える。
- ⑤ 女性の不安感や抑うつ感は精神科治療の対象ではないとの判断を女性と主治医に伝える。

【設問2】

<解答例>

著作権の関係により、公表いたしません。

<出題意図>

本専攻では、特定課題の研究報告、あるいは、修士論文の提出が修士号取得の要件の一つとしている。そのため、研究を進めていくのに必要な論文構成についての基本知識、並びに、英語で書かれた論文の内容を正確に理解する力を問うことを目的としている。

【設問3】

<採点基準>

- ・不登校の現状や推移，不登校支援の基礎的知識について理解しているか
- ・指定された用語について適切に理解し記述されているか
- ・スクールカウンセラーの役割について適切に記述されているか
- ・文章が論理的に構成されており，誤字，脱字等がないか

<出題の意図>

心理専門職に求められる知識，技能，姿勢等の理解度を測るとともに，それを臨床実践と結びつけて具体的に活用するための基礎的な力を有しているかを確認することを目的としている。